

平成 18 年度 春期 テクニカルエンジニア（システム管理） 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

情報システムの障害発生時には、業務に多大な影響を及ぼす場合がある。このため、情報システムの障害未然防止策とともに、障害対応策を実施することは、システム管理エンジニアの重要な業務である。

本問は、障害対応策のうち、システム管理エンジニアが主体的に行うべき情報システムの障害対応訓練を主題としている。すなわち、障害対応訓練の目的に沿った実行可能な計画の立案と、実施時に判明した問題点と解決に向けた対策について、具体的に論述することを求めている。計画の詳細だけを論述することは、出題の趣旨にそぐわない。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要な障害対応訓練に関する計画立案能力、関係者との調整能力、問題解決能力を評価する。

*

問 2

運用中のシステムで発生する様々な変更要求に対して変更管理のプロセスを作成しておくことは、安全かつ安定したシステム運用のために不可欠であり、システム管理エンジニアの重要な業務である。

本問は、システム管理エンジニアが、緊急を要する変更要求を想定して、標準の変更管理プロセスを基に緊急時の変更管理プロセスを作成することを主層としている。すなわち、緊急であるがために標準のプロセスでは対処できない部分の特定と、それに対応するための変更管理プロセスの作成について、具体的に論述することを求めている。緊急を要する変更要求に対する作業そのものに終始する論述は、出題の趣旨にそぐわない。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要な変更管理プロセスの構築能力、問題分析能力、調整能力などを評価する。

*

問 3

分散配置されたシステムを運用管理するため、事業所の社員がシステム担当者として、兼務で任命される場合が多い。

本問は、分散配置されたシステムにおいて事業所で発生する問題に対し、システム管理エンジニアが主体的に行うべき運用管理面での対応を主題としている。すなわち、システム担当者が事業所内のシステムを適切に運用管理するための施策と、事業所のシステム担当者の指導・支援について、具体的に論述することを求めている。運用管理面ではなく、システム面での対応を中心に論述することは、出題の趣旨にそぐわない。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアに必要なシステム運用に関する技術知識、対応策の立案能力、指導能力、管理能力などを評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。